

情報ボックス

令和2年度、2回目の情報ボックスです。
今回は、本校の『プレイルーム』についてお伝えします。

プレイルームについて

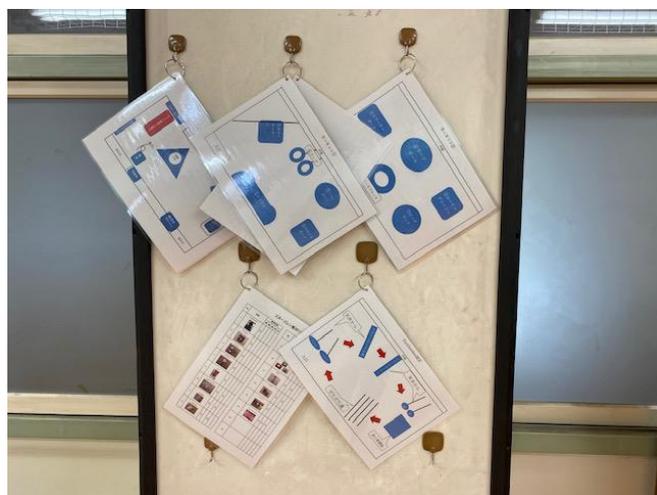


本校ではトンネルやトランポリン、バランスボードなどの運動遊具を使った学習ができるプレイルームを設けています。運動遊具を使った活動を通して、児童・生徒の探索活動を促すなど学習の目的に応じた課題を設定することができます。また、いくつかの運動遊具を組み合わせ、自由度の高い空間を設定することができます。プレイルームでの活動における空間設定において、工夫できる点や器具について紹介します。

こんな工夫をしています



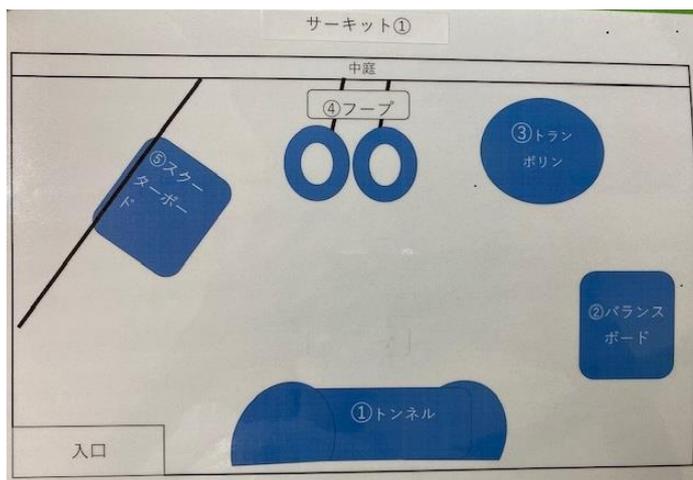
←天井にマス目状にロープを張って、探索活動に使うフラフープやタンバリンなどを吊り下げられるようになっています。ロープに吊り下げる道具にカラビナを取り付け、簡単に着脱できるようになっています。



↑運動遊具の配置例をいくつか用意して壁にかけています。

サーキットについて

サーキットとは、運動遊具を組み合わせ、コースのように順に巡りながら周回する運動あそびです。楽しみながらバリエーションの豊かな体の動きを体験できます。サーキットに使う運動遊具の配置図には、表面には運動遊具の配置が書かれています。裏面には、それぞれの運動遊具の特徴やサーキットの意図についての説明があり、課題を設定する際の参考にすることができます。



代表的な運動遊具について



トンネル

トンネルくぐりをして遊ぶ際に、自分の身体とトンネルの大きさを比べてどのような姿勢で進むのが良いのかを考えられます。四つばいで進むことで頭や手足の位置を意識し自分の身体のイメージを知ることができます。トンネルに入ることを怖がる子どもには輪くぐりや短いトンネルから始めるとよいでしょう。中に、マットや毛布などを敷くと、触覚刺激と運動を組み合わせることができます。



スクーターボード

裏面に4つのタイヤがついていて、あお向けやうつぶせ、座った姿勢で乗ることができます。坂道を滑るほかに、手で漕いで進むこともできます。部屋に渡したロープを手繰り寄せながら進むことで、全身を使った運動ができます。移動の方向やスピード、ロープの太さなどを変えて活動を工夫することができます。



バランスボード

座位や立位で乗ることができる場合は指導者と手をつないで左右にゆっくりと傾けながらバランスの取り合いをするなど、子どもの平衡感覚を養うことができます。慣れてくると、じゃんけんゲームをしながらバランスボードに乗るなど、バランスをとっていることを意識せずに乗ってられるように活動を展開することもできます。